

沼津市リノベーションまちづくり特別講演「稼ぐ公民連携」

日時 平成 28 年 6 月 28 日 (火)

18 時 から 19 時 30 分

会場 大手町会館

〈当日の様子〉

株式会社アフタヌーンソサエティ 代表取締役 清水義次氏をお招きし、「稼ぐ公民連携」と題して、ご講演いただきました。

清水氏は、東京大学工学部都市工学科を卒業後、コンサルタント会社を経て1992年に株式会社アフタヌーンソサエティを設立されました。

主に、東京都千代田区において閉校となった中学校をリノベーションし、現代美術を軸としたアートセンターへと生まれ変わらせた「3331 Arts Chiyoda」や、北九州市小倉家守プロジェクト、岩手県紫波町オガールプロジェクトなど、民間のみならず公共の遊休不動産を活用しエリア価値を向上させるリノベーションまちづくり事業をプロデュースされています。



清水氏からは、経済成長時代とは異なり、まちの活性化には、お金が循環し自立した民間主導による事業が必要であることや、民間を主導とした行政参加の重要性についてお話を頂きました。

併せて、事例紹介による具体的な説明が行われ、遊休化した不動産を活用し、実現までにスピード感のあるリノベーションによりエリアの価値を高めてからこそ大きな投資が可能になると力説されました。「敷地に価値なし。エリアに価値あり。」

また、こうしたリノベーションまちづくりは、エリアを再生し、次の投資を呼び込み、質の高い雇用が生まれるなど、複数の課題解決につながるものであり、その実現のためには、不動産所有者と起業者・事業者オーナー、彼らをつなぐ役割を担う家守会社が連携した、稼ぐ公民連携が大切であるとお話されました。

不動産業者、建設業者、商業者、新規起業者、行政職員等 120 名を超える方が聴講されました。

